

デジタル技術活用の方向性と DX 推進体制

1、経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性

- ・デジタル技術が社会や自社の競争環境にどう影響するか

一般的に DX は「デジタル技術の活用により、製品サービスやビジネスを変革し、競争力を強化する」という意味ですが、当院においては人材確保難、収益性向上、医療サービスの質向上といった課題の解決方法として有効な手段であると考えております。

当医院をはじめとする個人経営の歯科クリニックにおいては、経営面では原価の値上がり、他社競争激化など市場環境が大きく変化しており、効率改善、経費等削減等に取り組む必要性が高まっております。また、近年の採用難から現場の雇用環境の改善も課題となっております。市場環境の変化が齎す結果として、治療期間の長期化、これによる感染リスクの増加等、医療サービスの質低下、医院の信用低下に繋がることを懸念しております。

- ・上記を踏まえた、経営ビジョン、ビジネスモデル策定

上記課題に対しては、当院院長を中心に、従業員と一丸となり DX、デジタル化による具体的改善策を早期に具体化し着手いたします。経営ビジョンとして、経営面において原材料費、外注加工費を抑制いたします。また、サービス面において来院または麻酔回数を減らす等患者の身体的、費用的負担を軽減し、診療精度向上を図ります。積極的にデジタル技術導入を図ることで経営改善、サービスの質向上を両立するビジネスモデルを構築致します。

- ・経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策

先進デジタル機器の導入による補綴物製作の一部内製化により、製造工程の自動化による効率改善、完成物の精度向上を図ります。この取り組みにより、加工費等外注費削減、治療期間の短縮化、治療期間中の感染リスク低減、人的エラーの抑止という効果を見込んでおります。また、DX に対応する先進機器を選択し、診療データのデジタル化、ならびに機械間のデータ連携に対応することで、今後展開が予想される外部医療機関や介護施設との連携、診療データ共有に対応いたします。体制としては、継続的にデジタル化に先進的に取り組む医療機器メーカーや販売代理店からの情報収集、および患者ニーズの把握に努め、導入効果を適宜検討いたします。

2、戦略を効果的に進めるための体制提示

